

市民が体験!! 道路パトロール

国土交通省では、平成20年度からはじまる次期の『社会資本整備重点計画』（従前の「道路整備五箇年計画」等を統合したもの）を立案するための準備を進めており、全国計画と広域地方計画の二本立てにより、議論が始まっています。

このため、静岡国道事務所では地域の声をこれら計画に反映させていくために、今年9月から11月に地元の経済界、有識者、NPO、道路に関する活動をされている市民団体の皆様からご意見を頂戴する聞き取り調査を行ないました。

この中で、道路に関する市民活動をされている岩本俊彦氏（グループみんなの道 代表）から、「道路管理の重要さ、たいへんさ」についてのご意見やご質問を頂きました。その際に、「現場での苦労を知りたいので、ぜひ道路パトロールを体験してみたい。」とお申し出を頂き、今回、「道路パトロールの体験」を実施することとなりました。

体験していただく岩本氏は静岡市清水区において、日頃から住民主導により道づくりやまちづくりについて考え、活動を推進している団体の代表をされています。

“道路パトロール”の体験や道路管理についての学びといった今回のような取り組みを通じ、道路を広く、美しく、安全に利用する気運がより高まればと考えております。

「道路パトロール」とは？

静岡国道事務所では、日常、国道1号などの直轄国道（5路線、計約240km）において、「道路が壊れたりしていないか」、「道路上に障害物が落ちていないか」、「道路工事の安全対策に問題はないか」などについて、パトロールを行なっています。

道路が常時良好な状態に保たれるよう道路の利用状況を把握し、道路の異常時に対して適宜の措置を講ずるとともに、道路管理上必要な情報及び資料を収集しています。

開催日時 平成18年12月22日(金曜日)

出発場所 国土交通省 静岡国道事務所

日程 9:00~9:10 出陣式

9:10~9:30 情報センター見学、説明

9:30~12:00 道路パトロール体験

12:00~13:00 反省会

体験ルート



体験に使用されるパトロールカーは？



排ガスはこれまでのディーゼル車と比較してCO2では20~30%、NOxは70~90%、黒煙、硫黄酸化物はほとんど排出しなくなり、環境にやさしい道路パトロールカーです。

情報センターって何？

- 静岡国道事務所では安全で円滑な道路交通の確保を目的に道路交通情報を提供しています。
- 管理区間の主要ポイントにカメラを設置し、静岡国道事務所内にある情報センターのモニター映像を確認しリアルタイムに道路交通情報を提供しています。



お問い合わせ

国土交通省 静岡国道事務所（静岡市葵区南安倍2丁目8-1）

担当 副所長 加納 TEL054-250-8900 管理第一課長 入野 TEL054-250-8906